

会場と発表区分

【口頭発表 討論】

5月13日(土)

会場名	A	B
第3会場	K-A-1 14:30～15:15 保育思想・保育理論・保育史などⅠ	K-B-1 17:15～18:00 保育思想・保育理論・保育史などⅡ
第4会場	K-A-2 14:30～15:15 保育内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現)などⅠ	K-B-2 17:15～18:00 保育制度・保育行財政など
第5会場	K-A-3 14:30～15:15 保育内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現)などⅤ	K-B-3 17:15～18:00 保育内容(健康・人間関係・環境・言葉・表現)などⅡ
第6会場	K-A-4 14:30～15:15 保育方法(保育方法論・保育形態・幼児理解)などⅡ	K-B-4 17:15～18:00 保育環境
第7会場	K-A-5 14:30～15:15 乳児保育(0.1.2歳児の保育)などⅠ	K-B-5 17:15～18:00 乳児保育(0.1.2歳児の保育)などⅡ
第8会場	K-A-6 14:30～15:15 保育者の資質能力・保育者の専門性Ⅰ	K-B-6 17:15～18:00 保育者の資質能力・保育者の専門性Ⅱ
第9会場	K-A-7 14:30～15:15 保育者の資質能力・保育者の専門性Ⅴ	K-B-7 17:15～18:00 保育専門職の養成などⅠ
第10会場	K-A-8 14:30～15:15 児童文化・児童文化財Ⅰ	K-B-8 17:15～18:00 子ども家庭支援Ⅰ
第11会場	K-A-9 14:30～15:15 子ども家庭支援Ⅳ	K-B-9 17:15～18:00 多文化保育・異文化理解・ジェンダーなど

5月14日（日）

会場名	C	D
第3会場	K-C-1 11:00 ～ 11:45 保育思想・保育理論・保育史などⅢ	K-D-1 14:30 ～ 15:15 保育思想・保育理論・保育史などⅣ
第4会場	K-C-2 11:00 ～ 11:45 発達論・心身の発達・保育計画など	K-D-2 14:30 ～ 15:15 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現）などⅣ
第5会場	K-C-3 11:00 ～ 11:45 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現）などⅢ	K-D-3 14:30 ～ 15:15 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現）などⅥ
第6会場	K-C-4 11:00 ～ 11:45 保育者の資質能力・保育者の専門性Ⅲ	K-D-4 14:30 ～ 15:15 保育方法（保育方法論・保育形態・幼児理解）などⅠ
第7会場	K-C-5 11:00 ～ 11:45 保育専門職の養成などⅡ	K-D-5 14:30 ～ 15:15 保育者の資質能力・保育者の専門性Ⅳ
第8会場	K-C-6 11:00 ～ 11:45 子ども家庭支援Ⅱ	K-D-6 14:30 ～ 15:15 保育専門職の養成などⅢ
第9会場	K-C-7 11:00 ～ 11:45 保幼小連携・接続・保育マネジメント	K-D-7 14:30 ～ 15:15 児童文化・児童文化財Ⅱ
第10会場	K-C-8 11:00 ～ 11:45 保育運営・保育条件	K-D-8 14:30 ～ 15:15 子ども家庭支援Ⅲ

【ポスター発表 在籍責任時間】

5月13日（土）

A	B
14:00 ～ 14:30	15:30 ～ 16 : 00
P-A-1 発達論・心身の発達	P-B-1 保育思想・保育理論・保育史 I
P-A-2 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） I	P-B-2 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） II
P-A-3 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） V	P-B-3 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） VI
P-A-4 保育方法 I	P-B-4 保育環境・保育教材 II
P-A-5 保育環境・保育教材 I	P-B-5 障害児保育など I
P-A-6 児童文化・児童文化財 I	P-B-6 保育者の資質能力・保育者の専門性 II
P-A-7 保育者の資質能力・保育者の専門性 I	P-B-7 保育者の資質能力・保育者の専門性 V
P-A-8 保育者の資質能力・保育者の専門性 IV	P-B-8 保育専門職の養成 II
P-A-9 保育専門職の養成 I	P-B-9 保育専門職の養成 V
P-A-10 保育専門職の養成 VI	P-B-10 子ども家庭支援など II
P-A-11 子ども家庭支援など I	P-B-11 家庭保育・子どもの権利

5月14日（日）

C	D
10:30 ～ 11:00	14:00 ～ 14:30
P-C-1 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） など III	P-D-1 保育思想・保育理論・保育史 II
P-C-2 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） など VII	P-D-2 保育制度・多文化共生・異文化理解
P-C-3 保育方法 II	P-D-3 教育計画・保育計画・指導計画・評価
P-C-4 保育環境・保育教材 III	P-D-4 保育内容（総論・遊び）
P-C-5 障害児保育など II	P-D-5 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） IV
P-C-6 保育者の資質能力・保育者の専門性 III	P-D-6 保育内容（健康・人間関係・環境・言葉・表現） VIII
P-C-7 保育者の資質能力・保育者の専門性 VI	P-D-7 乳児保育（0.1.2 歳児）
P-C-8 保育専門職の養成 III	P-D-8 障害児保育など III
P-C-9 保育専門職の養成 IV	P-D-9 児童文化・児童文化財 II
P-C-10 子ども家庭支援など III	P-D-10 子ども家庭支援など IV
P-C-11 保育マネジメントなど	P-D-11 幼保小連携・接続

【自主シンポジウム 討論】

5月13日（土） 13:00～14:00

会場名	セッション番号	テーマ
第3会場	J-A-1	社会的子育ての実現：多様な家族としての外国人家族を支えるために
第4会場	J-A-2	子どもの主体的なあそび、学び、育ちを支える園庭・校庭・まちの環境について考える6～乳児期から学童期の子どもたちの屋外環境とのかかわりの機会の重要性・可能性を再考する～
第5会場	J-A-3	発達にもとづく評価基準と対話的保育実践 ー保幼小接続期カリキュラムにおける基礎的理論構築にむけてー
第6会場	J-A-4	指導が行き届きにくい保育実習生の実態 ー対人関係に困難さがみられる実習生に関する全国調査からー
第7会場	J-A-5	DV 家庭への保育所での支援と保育士の思い
第8会場	J-A-6	園内研修や会議を変える保育ファシリテーション ー職員の主体的参加を促し保育の質を向上するー
第9会場	J-A-7	子育て支援における多職種連携協働
第10会場	J-A-8	保育での ICT 活用第一歩 ～ここから始めた ICT 活用～
第11会場	J-A-9	子どもの手指の発達を促す遊びと玩具

5月13日（土） 16:00～17:00

会場名	セッション番号	テーマ
第3会場	J-B-1	保育における「多様性」をどのように理解することができるのか ー国内外のナショナルカリキュラムの検討からー
第4会場	J-B-2	幼児教育・保育における環境構成と散歩
第5会場	J-B-3	接続期の教育 ー模索・実践・課題ー
第6会場	J-B-4	保育所実習の DX 化を目指した電子版実習記録の開発と可能性
第7会場	J-B-5	生きた保育のことばに向けて：生成のナラティブ
第8会場	J-B-6	幼保連携型認定こども園の特性を生かした子育て支援について考える ーポピュレーションアプローチを中心にー
第9会場	J-B-7	「能力」というトラウマから抜け出す ー“よさ”の未定義性のさらなる展開ー
第10会場	J-B-8	乳幼児への語りかけについて考える ー男性保育者の視点からー
第11会場	J-B-9	保育環境・家庭環境の質と子どもの発達について考える：実証研究の知見から

5月14日（日） 9:30 ～ 10:30

会場名	セッション番号	テーマ
第3会場	J-C-1	知育玩具の与え方 ～保育における人的環境の充実～
第4会場	J-C-2	保育環境に関する学習方法の提案 ～保育者養成教育における活動理論の活用～
第5会場	J-C-3	幼小接続をみすえた多文化保育 ～越前市の取り組みから考える～
第6会場	J-C-4	保育者養成校と保育現場をつなぐ“こども理解プロジェクト MIYAGAKU” II ～つながりから生まれてきたもの～
第7会場	J-C-5	子ども主体の保育と安全-子どもの自由な遊びの価値と危険について考える
第8会場	J-C-6	トライアル・アンド・エラーから学ぶ質の向上を目指す保育マネジメント（2） ～実践者・ミドルリーダー・管理職の視点の重なりから考える～
第9会場	J-C-7	「アートと創造性」の可能性：レッジョ・エミリアのアトリエリスタの語りから
第10会場	J-C-8	持続可能な社会と保育のあり方 ～人間中心主義の保育を問い直す～
第11会場	J-C-9	保育における動画の活用
第12会場	J-C-10	ミドルリーダーの経験の径路を探る：リーダーシップの発揮・葛藤・逡巡のプロセス

5月14日（日） 13:00 ～ 14:00

会場名	セッション番号	テーマ
第3会場	J-D-1	子どもと保育者が共につくりあげる保育環境
第4会場	J-D-2	就学前保育者と小学校教師の合同研修会を通して考える幼小接続・連携の在り方とは
第5会場	J-D-3	保育の質の向上に資する実習指導の新展開
第6会場	J-D-4	「保育事故」をなくすために（7） ～いま保育関係者が取り組むべき課題は何か～
第7会場	J-D-5	乳幼児精神保健の知見を援用した現任研修プログラムの可能性
第8会場	J-D-6	保育の中の「参画」 ～「参画」から考える「子どもの権利」～
第9会場	J-D-7	国の職員配置基準で、子どもを尊重する保育は可能か
第10会場	J-D-8	子どもを真ん中に保育を考える II ～遊び心を手がかりにして～
第11会場	J-D-9	コミュニティ再生における遊び心の持つ意味
第12会場	J-D-10	地域子育て支援拠点事業としての外国籍幼児・児童への絵本の読み聞かせの取り組みと課題に関する研究

5月14日（日） 15:30 ～ 16:30

会場名	セッション番号	テーマ
第3会場	J-E-1	日本における多文化保育の現状と課題 ～国内保育施設・養成校調査の結果から～
第4会場	J-E-2	保育現場における実習の意義を見つめて ～共同体として育ち合うために～
第5会場	J-E-3	子どもの権利条約と保育実践とのつながりを考える ー子どもが社会の一員として在るということー
第6会場	J-E-4	モンテッソーリ教育学と子ども教育における現代的視点を探る
第7会場	J-E-5	多胎児の親の育児における困難感とその支援：支援拡大に向けて
第8会場	J-E-6	戦争、差別とキリスト教保育
第9会場	J-E-7	子どもを真ん中に保育を考える III ～ぐちゃぐちゃと過ごす中で思うこと、4歳児と保健室～
第10会場	J-E-8	「保育」の境界の不可視性 ー傍らにいる者の保育への関与からー
第11会場	J-E-9	幼児教育の推進に向けた体制のあり方を考える ー幼児教育センターとの連携を軸にー
第12会場	J-E-10	保育実践に根差した評価の探求：エピソード研修から考える

5月14日（日） 17:00 ～ 18:00

会場名	セッション番号	テーマ
第3会場	J-F-1	「部屋の響き」は保育実践にどのような影響を及ぼすのか ー障がいのある子どもたちのための音環境づくりからー
第4会場	J-F-2	幼・小移行期の書き言葉と保育 ー子どもは何のために書くか、どのように支えるかー
第5会場	J-F-3	保育者養成における SDGs ～これからのカリキュラムを考える
第6会場	J-F-4	保育者養成課程における絵本の学びから広がる可能性 ～認定絵本士養成講座を通して～
第7会場	J-F-5	支え・繋ぎ・育む：日本のインクルーシブな保育への展望（2） ー子どもの自己発揮を支える園内環境整備の視座からー
第8会場	J-F-6	異年齢保育の実践を学ぶ ーインクルーシブ保育における子ども同士の関りについてー
第9会場	J-F-7	地域への親しみを育む保育実践 ーこども園における現状と課題についてー
第10会場	J-F-8	就学前期における「学習」の意味を問う：学習とドキュメンテーション (pedagogical documentation)
第11会場	J-F-9	おむつなし保育を楽しむ保育士たち ーはつの・あそびの森こども園の排泄ケア